

2003年12月の東北地方の天候

【12月の特徴】

- ・気温はかなり高く、日照時間はかなり少ない
- ・中旬の降水量はかなり多い

(1) 概況

上、下旬は低気圧や前線が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。また、中旬は低気圧の影響を受けやすかったため、降水量は平年よりかなり多く、日照時間はかなり少なかった。ただし、日本付近への強い寒気の南下は一時的で長続きせず、気温は月を通して平年よりかなり高かった。

月平均気温はかなり高い。月降水量は多い。月間日照時間はかなり少ない。月降雪量は東北北部で少なく(平年比41%)、東北南部で平年並(平年比72%)。

(2) 天候経過

上旬： 1～2日は日本の南東海上を北東に進んだ台風第21号の影響で曇りの所が多かったが、南から暖かい空気が入り、気温はかなり高くなった。また、6日は低気圧が日本海を発達しながら北東に進み、東北地方は雨となった。その他の日は冬型の気圧配置が続き、7日以降は強い寒気が南下して東北日本海側を中心に雪となった。

なお、青森県の階上岳で4日に初冠雪を、福島で4日、仙台で7日に初雪を、小名浜で8日に初霜を観測した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は少ない。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。

中旬： 低気圧が短い周期で東北地方を通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となったが、強い寒気の南下はなかったため、東北日本海側は雨、東北太平洋側でも曇りや雨の日が多くなった。しかし、20日は強い寒気が南下して東北太平洋側でも雪となり、各地で交通障害が発生した。

なお、小名浜で17日に初氷を、20日に初雪を観測した。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量はかなり多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

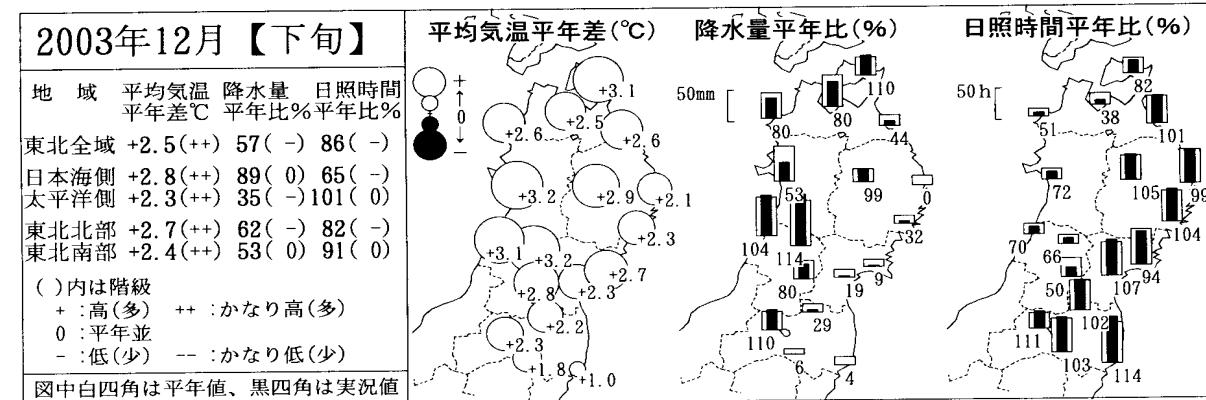
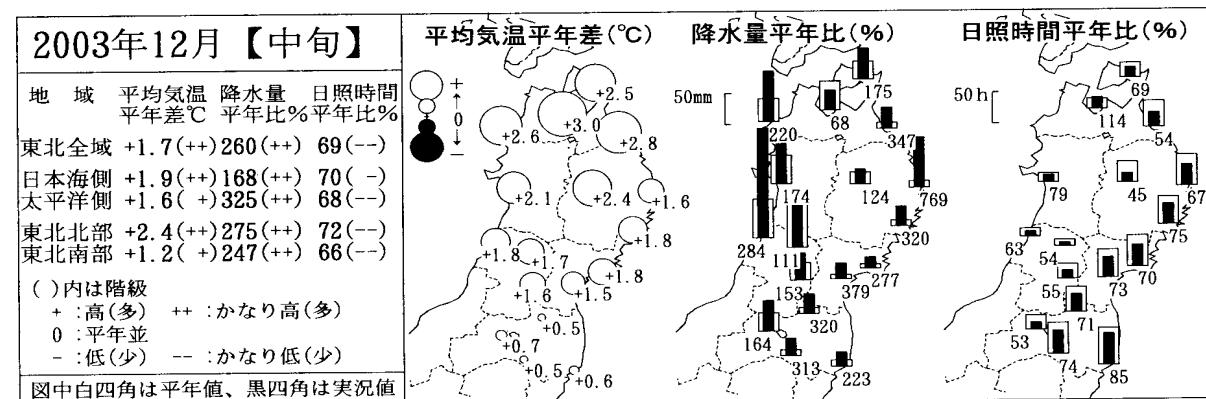
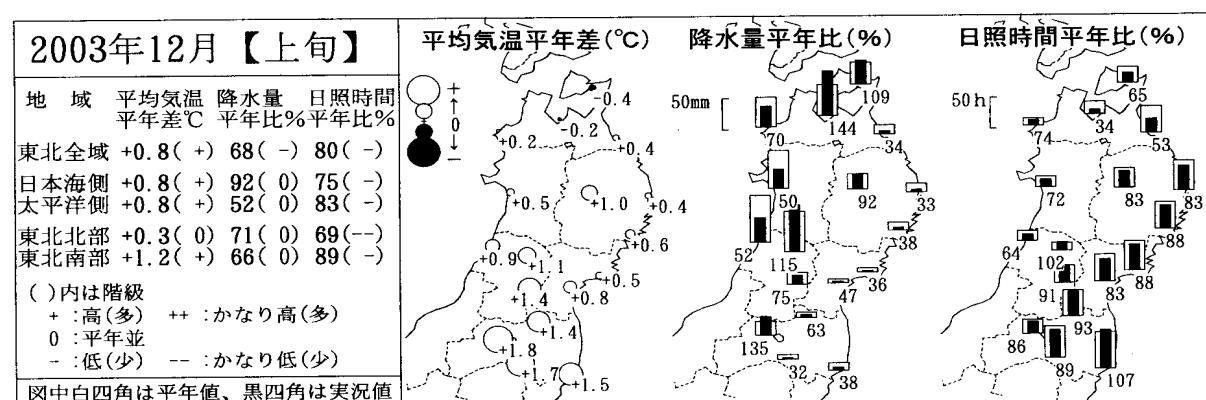
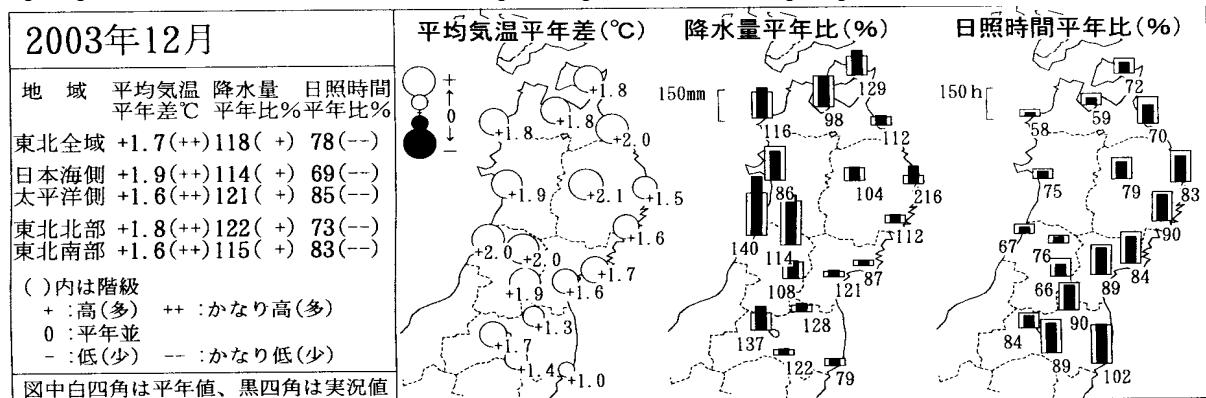
下旬： 気圧の谷や前線が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。しかし、強い寒気の南下は27日だけで、長続きしなかった。東北日本海側は曇りや雨または雪となったが、東北太平洋側は概ね晴れた。

平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

(3) 2003年12月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4)月気候表(2003年12月)

地 点	月平均気温(平年差) 階級	月降水量(平年比) mm % 階級	月間日照時間(平年比) h % 階級	月最深積雪(平年値) cm cm 階級	月降雪量(平年値) cm cm 階級
青 森	3.1 (+1.8) +*	145.0 (98) 0	32.5 (59) - *	31 (51) -	124 (177) -
深 浦	4.3 (+1.8) +*	147.0 (116) +	20.0 (58) - *	10 (17) 0	23 (42) -
む つ	3.0 (+1.8) +*	120.5 (129) +	53.4 (72) - *	25 (24) 0	--- (---) ---
八 戸	3.6 (+2.0) +*	46.5 (112) 0	89.7 (70) - *	3 (10) -	3 (21) - *
秋 田	4.7 (+1.9) +*	141.0 (86) -	35.5 (75) -	11 (16) 0	27 (50) -
盛 岡	2.9 (+2.1) +*	67.0 (104) 0	82.3 (79) - *	5 (17) -	15 (41) -
大 船 渡	5.1 (+1.6) +*	41.5 (112) 0	125.2 (90) -	(4) - *	0 (7) - *
宮 古	4.5 (+1.5) +*	86.0 (216) +	126.4 (83) - *	5 (6) 0	5 (9) 0
仙 台	5.9 (+1.6) +*	32.0 (121) +	128.8 (89) -	7 (7) +	7 (11) 0
石 巍	5.1 (+1.7) +*	21.5 (87) 0	130.7 (84) - *	(5) - *	--- (---) ---
山 形	4.3 (+1.9) +*	83.5 (108) +	56.0 (66) - *	16 (23) 0	29 (59) -
新 庄	3.4 (+2.0) +*	239.5 (114) 0	28.2 (76) -	21 (50) -	--- (---) ---
酒 田	6.3 (+2.0) +*	282.5 (140) +	29.8 (67) - *	4 (13) - *	5 (33) - *
福 島	5.5 (+1.3) +*	41.5 (128) +	117.4 (90) -	9 (10) 0	10 (19) 0
若 松	3.6 (+1.7) +*	114.0 (137) +	60.5 (84) -	19 (28) 0	36 (73) 0
白 沢	4.1 (+1.4) +*	30.5 (122) 0	140.6 (89) -	20 (8) +	--- (---) ---
小名浜	7.1 (+1.0) +	27.5 (79) 0	189.4 (102) 0	2 (1) +	2 (1) +

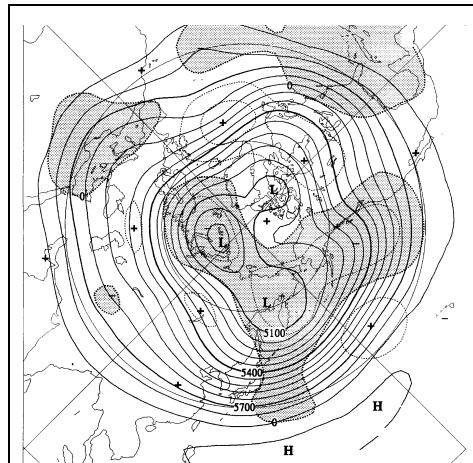
観測値欄の記号は、×：欠測　)：欠測日を含む　　：現象なし　---：観測をしていない

階級は　+：高い(多い)　0：平年並　-：低い(少ない)　*は「かなり」を表す

(5)2003年12月の循環場の特徴

月平均500hPa高度を見ると、北極域及びシベリア北部からアラスカにかけての高緯度で負偏差が広がったため、中緯度へ寒気は南下しにくかった。また、日本の南の太平洋高気圧は平年より強く、本州付近も弱い正偏差に覆われた。ただし、バイカル湖付近は正偏差で、北海道から日本の東海上にかけては弱い負偏差となり、一時強い寒気の南下もあった。

東北地方は、低気圧や前線が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となることが多かった。ただし、日本付近への強い寒気の南下は一時的で長続きせず、気温は平年よりかなり高かった。



2003年12月の月平均500hPa高度
実線は高度(m)、破線は偏差(m)、
間隔60m。陰影部は負偏差域。

注)階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971~2000年の30年間ににおいて出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6)月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪、月降雪量の3位まで。ただし、新庄・むつ・白河の月最深積雪は、統計期間が短いため1位に該当した場合のみ示す。石巻の月最深積雪は、統計期間が短いため、極値・順位を求めない。新庄・むつ・石巻・白河の月降雪量は観測していない。)

月平均気温 高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	平均気温()	これまでの最高()(年)	統計開始年	平年値()
2位	新庄	3.4	4.2(1990)	1985	1.4
	八戸	3.6	4.4(1990)	1937	1.6
	盛岡	2.9	3.6(1990)	1923	0.8
	酒田	6.3	7.0(1990)	1937	4.3
	山形	4.3	5.3(1990)	1891	2.4
3位	大船渡	5.1	5.7(1990)	1963	3.5
	深浦	4.3	4.9(1990)	1940	2.5
	むつ	3.0	4.0(1990)	1935	1.2
	秋田	4.7	5.5(1890)	1886	2.8
	仙台	5.9	7.2(1990)	1926	4.3

月間日照時間 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最小(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
2位	新庄	28.2	26.4(1995)	1985	37.3
3位	八戸	89.7	77.8(1949)	1937	128.4